

令和５年度 岡崎版図柄入りナンバープレート推進協議会

1 開催及び閉会に関する事項

令和５年 10 月 4 日（水）16 時 00 分 ～ 17 時 00 分

2 開催場所

岡崎市役所東庁舎第 2 来賓室

3 出席委員

所 属 名	補 職	氏 名
名城大学	理工学部教授	松本 幸正
岡崎商工会議所	専務理事	岩月 幹雄
幸田町商工会	会長	神取 勇
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	首席運輸企画専門官	宮川 高彰
愛知県警察岡崎警察署	交通課長	山口 幸治
岡崎市	副市長	山本 公德
幸田町	副町長	大竹 広行

4 説明等のため出席した事務局職員の職氏名

・岡崎市

岡田 晃典（総合政策部長） 木下 政樹（地域創生課長）

牧原 利雄（地域創生課副課長） 大森 裕美（主任主査） 川内 良祐（主査）

徳原 誉人（主事） 安藤 星哉（主事）

・幸田町

成瀬 千恵子（企画部長） 柴田 淳一（企画政策課長）

5 議題

(1) 協議会会長の選任について

事務局より名城大学松本教授を推薦し、構成員の互選により決定した。

(2) 寄付金の活用方針について

資料に基づき、事務局より説明した。

<以下、各委員の意見等>

委員： 5年間の更新基準とはどういうことか。

事務局： 普及率については0.3%、申込件数については500件。この基準を超えない場合については、廃止かデザイン変更して継続するかというものである。

委員： 今現在使っている車両に取付けをしたい場合はどうするのか。

事務局： ナンバープレートを返却して、新たに取付けをする必要がある。

委員： もう少し詳しく説明すると、新車の場合は納車時点で設置されており、更新の場合は、陸運局へ申込み、既存プレートの返却と新しいプレートの取付けが必要ということになる。ネットで申し込んで、自宅に届くという形ではないため、ある程度の手間があることを想定されると良い。

事務局： 登録自動車については、陸運局へ行き、封印していただく必要がある。軽自動車については、封印がないため、自宅で取付けもできるが、ナンバープレートの返却があるため、基本的には、現地へ赴く必要がある。

委員： 自分で行く必要があるのか。

事務局： 整備会社やディーラー等に依頼していただく方法もある。その場合は、手数料等が必要となる場合がある。

委員： 寄付額の予算規模はどの程度想定しているか。

事務局： 最大で2,000万円程度を想定している。

委員： 更新基準として、申込件数500件があって、仮にフルカラー版が2割程度だと想定した場合、そこまでの額にならず、取組みについては、限定的なものになるのではないか。

続けて、取組みの提案だが、子ども達に対する交通安全教室、事故防止等の取組みへの活用をお願いしたい。

委員： あくまで更新基準のため、岡崎版については、もっと高い数値を目標としたい。後ほど説明があると思うが、基本的には普及活動に力を入れていくと思うので、この会議では、予算2,000万円を想定として協議をお願いしたい。

提案された交通安全、事故防止等への取組みについても、予算内の取組みの一部として考えていただければと思う。

委員： 令和4年10月～11月の人気投票実施時の意向として、②、③は実は交通事故防止であり、大きくは同じものではないかと考える。投票した51%のかたが、先ほど提案

されたような取組みを求めていると判断して良いのではないかと思います。

委員： アンケートに関して言うと、車に乗っていない人も回答していると思うので、鵜呑みにしなくても良く、どちらかと言うと寄付した方が何を考えているか、こういった取組みであれば納得していただけるか、といった点を考慮する必要がある。

委員： 寄付の仕組みはどういったものか。

事務局： ナンバープレートの交付には普通車で 7,390 円必要となる。フルカラー版にする場合は、それに加えて 1,000 円以上の寄付する必要があるという制度である。

委員： 「どうする家康」もあり、岡崎公園への集客をしようと、全国の商工会に積極的にプロモーションをかけているところで、全国から来訪いただいているが、意見として公園内は急な階段等が多く、お年寄りの方が途中で座っている場合もある。バリアフリーまではいかないまでも高齢者や障がい者が利用しやすい観光地とするための設備投資ができないかと提案する。

委員： 金額的に足りない可能性もあるかと思うが、家康を PR するといった流れで岡崎城の整備等にも使うという流れで良いかと思う。

委員： 観光プロモーションに伴い、公共交通の活性化も図っていただきたいと考える。

委員： 観光と公共交通は切り離せないと思うので、ぜひ、寄付金に限らず進めてほしいと考える。

委員： 幸田町では、大河ドラマの放映に合わせ、夏目吉信の石碑の設置等、観光関係に力を入れているため、観光プロモーションを進めることについて賛成である。

委員： いくつか意見が出てきているが、まとめると、一つ目は交通安全。ドライバーからは納得しやすい内容のため、反対はないかと思う。二つ目は観光プロモーションだが、岡崎市、幸田町が一体となって観光に取り組んでいくというのは、非常に良いことだと思う。もし余裕があるのであれば、三つ目として各自治体の拠点整備等も実施していくといった内容を実施する。この三点を推進協議会の取組みの方針とするといった内容でどうか。

委員： 異議なし。

委員： 交付対象となり得る交付台数は先月の状況から登録自動車は 1 月当たり 2,800 台程度である。軽自動車は 1 月当たり 1,000 台程度が見込まれる。この台数のうちどれだけの方に寄付していただくかという点について検討すると良い。

委員： 総量としては、1月当たり3,800台程度ということか。

委員： 登録車両台数については、先月の実績が多かったため、平均すると月あたり2,000台程度である。登録自動車、軽自動車合わせて3,000台程度を想定すると良い。

委員： インフルエンサーがいると普及しやすいと思うが、岡崎市には「東海オンエア」というYouTuberが活動しているため、協力があつた場合は、大きな効果が見込まれる。

委員： 観光プロモーションとして非常に有用な手段であると思う。

委員： まずは、地道な地元の事業者の協力を得るのが重要である。実際に取付けて、街を走るということが一番の宣伝になると思うが、先駆けて各自治体の車両には取り付けるのか。

事務局： 更新の時期に合わせて、取付ける予定である。併せて、市内をくまなく走っている名鉄バス株式会社様にも設置をお願いするなど、事業者にもご協力をお願いしている。

事務局： 事業者をお願いするにあたり、感謝状の作成等も検討しているため、意見をお聞きしたい。

委員： 各事業者からは地域貢献の一環という点で受け入れられことも考えられるため、良いかと思う。

個人の方向けには、図柄入りであれば、飲食店で割引が利くなどお得感があれば普及が進むのではないかと思う。

委員： 個人の方向けの取組みについては、商工会の協力が必要となってくるが、お金をかけない形で、非日常感を味わえるような公共のサービスとしては何かあるか。

事務局： 認証制度のような、こういった取組みに事業者として協力しているといった証明ステッカーの発行もやり方の一つかと思う。

委員： 認証制度の中で、ナンバープレートを変えたことによる効果を説明できないといけないと思う。寄付金による地域貢献というものもあるのだが、シビルプライドという点を考慮すると良い。シビルプライドを育むことに対して認証していくという姿勢が良いのではないか。

委員： 幸田町は公用車への取付けは進めるのか。

事務局： 車両の更新時をはじめ、積極的に取付けを進めたい。

委員： レッドサラマンダーへの設置はどうか。

事務局： 前向きに進めたい。

委員： 商工業の発展に寄与する内容のため、各事業者への協力のお願いについては、積極

的に進めたい。その際に、先ほど意見があった、協力した場合の認証等があると普及が進むのではと思う。

委員： 感謝状、認証制度等進めていただけると良いかと思う。

委員： 一般的に SNS 等の周知が考えられるが、高齢者向けには何かあるか。

事務局： 広報誌等で周知しているが、制度内容や申込方法についての問い合わせが多く寄せられている。意欲はあるが、取付けまでは難しいと感じているかたがいると考えられる。

委員： WEB 上での申請はできるのか。

事務局： 添付のチラシでも QR コードも併せ、WEB 申請について記載しているが、ここにたどり着くまでの周知に課題があるため、地道な周知活動が必要である。

委員： 普及のポイントとして、1 年目が大事である。普及率 3 %、普及台数 1 万台が目標であり、既存車両の買換えが主な対象となる。普及のためには、皆さんの協力に加え、個人向けには、インセンティブを与えながら進めていくこととする。具体的には、事業者向けには認証制度等を実施し、個人向けには、非日常感を味わえるような体験等を実施するといった形か。

委員： その他に、公園駐車場の割引など観光プロモーションを優先して実施していくというのはいかがでしょうか。

委員： インセンティブを与えるという点では素晴らしい案であるが、寄付したかたへの優遇という点については、慎重に検討が必要だと思う。

事務局： リアルタイムで申込数は分かるのか。

委員： 確認する。

委員： 目的を見失わないことが重要であると思う。取換えることを目的として、何が何でも普及率、普及台数を増やすような形にならないようにしていただくと良い。

本日出た意見を参考に、商工会と協力して取組みを進めていただくと良い。具体的に普及に向けて動きはあるか。

事務局： パンフレット等を作成し、商工会と共有する形で進める。

— 会 議 終 了 —